

○「農を考える会」をテーマに意見交換

(京都府京田辺市普賢寺地区第3回連絡会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

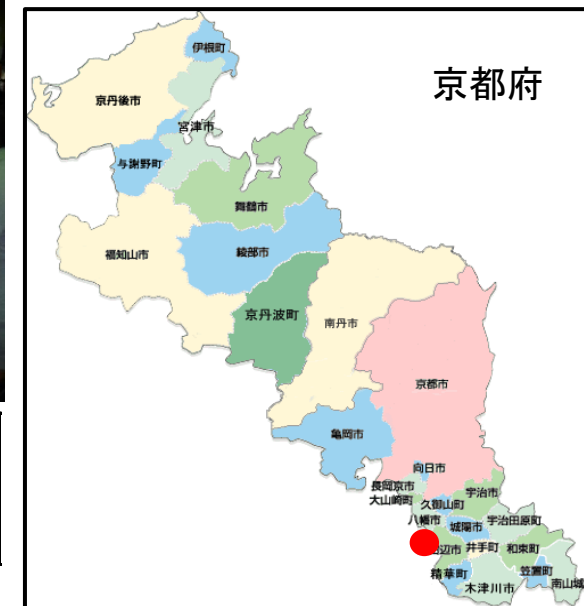
- 日時(時期): 平成30年11月21日午後7時～9時
- 場 所: 普賢寺ふれあいの駅
- 出席者: 委員6人、委員以外2人
農業会議 多田補佐
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○水稻を中心になす、玉露、てん茶、えびいもなどが栽培されているが、高齢化により生産力が低下してきている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 普賢寺地区は、市の南西部の中山間地域に位置し、水稻、花き、果樹などが生産されている。
- 普賢寺ふれあいの駅は、地元農産物の直売所と併せて、都市住民との交流の拠点となっている。
- 農を考える会は、新農構事業の流れで、平成元年頃からあり、会員数も多く、大きくなりすぎた。
- 資源活用部会、フリートーク部会は活動しているが、水稻部会、園芸部会はJAの部会とリンクせず、活動はない。
- 農を考える会は、一旦、解散する。フリートーク部会は出発点が違うので、部会で今後の姿を検討してもらう。
- 新たに、農業委員と認定農家及び区又は農家組合とのパイプ役を構成員とした組織を立ち上げ、普賢寺地域の農業の振興を目的として、各区の課題と連携を考える会にする。

4 活動結果

- | | | |
|-----------|---|----|
| ○ 情報・意見交換 | 2 | 時間 |
| ○ 担い手への集積 | a | 増加 |
| ○ 遊休農地面積 | a | 解消 |
| ○ 新規就農者 | 人 | 支援 |